



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年5月14日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



## 伊達公子さんの挑戦

伊達公子さん(52)＝写真左＝は日本人で初めて女子シングルスの世界4位になったテニス界のレジェンドです。6年前に、2回目の現役生活を終え、今は次世代の育成に力を入れています。若手選手の力を底上げしようと、4月に新設の国際

大会を開きました。この大会に伊達さんは、あるメッセージを込めていました。

伊達さんを今回取材したのは、同じくテニスのプロ選手だった女性記者です。高校総体で初めて対戦した時から「伊達さんは天才」との思いを抱いてきま

14日(日)＝1、3面

した。しかし、今回の取材で、若手育成に懸ける情熱に触れたり、大会で若手選手に接する姿を見たりすることによって「天才」とひとくくりにはできない、伊達さんの素顔を知ることができました。レジェンドが抱く熱い気持ちや夢に迫ります。



## G7広島サミット開幕

20日(土)＝1面など

19～21日、広島で主要7カ国首脳会議(G7広島サミット)が開かれます。日本がG7サミットの議長国を務めるのは7回目。長期化するロシアのウクライナ侵攻や覇権的な動きを強める中国への対

応、経済安全保障の強化や気候変動対策などがテーマです。

岸田文雄首相の地元でもある被爆地・広島から、核廃絶に向けたメッセージが打ち出せるかも焦点です。



広島市の原爆ドーム

## 特集 **ワイド**

### 「植田日銀」の行方

16日(火)＝夕刊特集ワイド

「物価の番人」のかじ取り役である日本銀行総裁が植田和男氏に交代しました。大型連休中はどこも人であふれ景気は上向いているような気もしますが、植田新体制で今後の金融政策はどうなっていくのでしょうか。物価

上昇や賃上げは順調に進むのかが注目されています。

日銀審議委員の経験もある野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミストの木内登英さん＝写真＝に聞きました。



## 論点 **ポストコロナの音楽**

17日(水)

＝オピニオン面

コロナウイルスの感染拡大で一時期、音楽のコンサートは中止や延期を余儀なくされました。規制は徐々に緩和され、コンサートも満員の会場で開催が認められるようになりました。コロナ禍によって、音楽の

発信のあり方や、人々の音楽への向き合い方はどのように変わったのでしょうか。そして、これから音楽はどうなっていくのでしょうか。ピアニスト、音楽学者、コンサートの興行会社社長といった音楽に携わる人々が論じます。



「新緑が映える、過ぎやすい季節となりました。3月からスタートし、ご好評を頂いている毎日小学生新聞の「ご入学・ご進級応援キャンペーン」ですが、今月25日に締め切りとなります。お子さまの学力アップに効果的な「毎小ニュース日記」をもれなくプレゼント。ウェブ申し込みなら毎小編集長が新聞の読み方を紹介する動画もつきます。詳しくは、QRコードをご覧ください(斎藤広子)

